

科目名	*プログラミング I		
担当教員	藤崎 渉		
対象学年	2年	クラス	[082]
講義室	パソコン教室1	開講学期	前期
曜日・時限	火3	単位区分	必
授業形態		単位数	2
準備事項			
備考			
A講義概要/Class Outline	<p>高度情報化社会の到来とともに機械設計技術者にも従来からの専門性に加えて広い視野での思考力が必要になってきている。ここではまずコンピュータを用いた情報処理とプログラミングの基本についてC言語を用いて学習し、さらに高度情報化社会における機械設計技術者の役割についても概説する。</p> <p>(達成目標)</p> <p>1. 問題を論理的に分析し、コンピュータで実行可能な段取りを考えることができる。2. その段取りを基本的なC言語で表現(プログラム)できる。3. 基本的なC言語とIT用語を理解できる。</p> <p>授業時間 22.5時間</p>		
B講義計画(テーマ及び学習内容)	回	内容	
	1	ガイダンス 受講上の注意、パソコンと開発環境の使用法を説明する。	
	2	画面への出力 printf文を用いて文字列を画面表示する方法を説明し、プログラム演習を行う。	
	3	変換仕様 変換仕様(%d,%f,%c)について説明し、プログラム演習を行う。	
	4	変数とその表示 変数の使い方と種類、printf文を用いた変数の値の表示方法を説明し、プログラム演習を行う。	
	5	キーボードからの入力 scanf文を用いてキーボードから入力された数値を変数に取り込む方法を説明し、プログラム演習を行う。	
	6	式と演算子 プログラム内の計算で用いられる基本的な演算子を説明し、プログラム演習を行う。	
	7	今までの講義総括と中間試験を行う。	
	8	型変換 異なる型のデータ間の演算を説明し、プログラム演習を行う。	
	9	if文 if文を用いて条件によりプログラムを分岐させる方法を説明し、プログラム演習を行う。	
	10	for文 for文を用いて繰り返し処理を行う方法を説明し、プログラム演習を行う。	
	11	while文 while文を用いて繰り返し処理を行う方法を説明し、プログラム演習を行う。	
	12	配列 配列の使用法を説明し、プログラム演習を行う。	
	13	switch文 switch文を用いて条件によりプログラムを分岐させる方法を説明し、プログラム演習を行う。	
	14	IT&C言語用語集の作成と修正 高度情報化社会と機械設計技術者の役割	
	15	IT&C言語用語集の作成と提出 今までの講義総括	
C到達目標/Class Goal	<p>09TM～;(E)コンピュータによる情報処理の基礎を理解し、応用できる能力を身につける</p> <p>05TM～08TM;((F)実験・実習を、計画・遂行し、工学的に結果を考察できる能力を身につける。</p>		

D準備学習の内容(事前・事後学習)	予習をして参加すること。配布した資料を読み返すこと。	
E評価基準GradingCriteria	中間試験、期末試験	
F評価方法/Grading Method	中間試験(30%)、期末試験(70%)で評価する。	
G受講上の注意/Class Rules	毎回の講義に出席して、演習課題を確実に理解すること。情報系キャリアを希望する方はプログラミングⅡも受講することを勧めます。	
H受講制限/Prerequisite	なし	
I関連する科目RelatedClass	プログラミングⅡ、機械設計情報演習	
J教科書/Text	著者名	高橋麻奈
	著書名	やさしいC
	出版社名	ソフトバンク
	ISBNコード	ISBN978-4-7973-4366-3
K指定図書/Assigned Books	著者名	
	著書名	なし
	出版社名	
	ISBNコード	
L参考文献/Bibliography	著者名	
	著書名	なし
	出版社名	
	ISBNコード	

